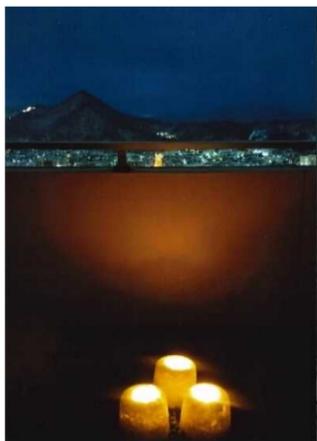




【一般の部】協賛企業特別賞

(協賛：石屋製菓株式会社、北海道コカ・コーラボトリング株式会社)

タイトル	親子桜	撮影場所	農試公園向かいの公園	氏名	梁瀬 邦之	タイトル	在来種の蝶と触れ合える環境を次の世代にも。	撮影場所	西区西野	氏名	横山 幸弥
		<p>選択したSDGs</p>   <p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>農試公園向かいにある小さな公園。そこには私が札幌で一番大きく見える桜の木があります。春4月満開の桜に引かれて老若男女、様々な方がいらっしやいます。この日は平和の象徴「桜」を見ながら、親子と思われる方が写真を撮影していました。身近にこんな空間があるなんて……心安らく日常がいつまでも続くことを願っています。</p>						<p>選択したSDGs</p>     <p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>北海道の自然と子供の笑顔がずっと続くように。西野のエゾモンシロチョウと子供です。</p>			
タイトル	餌採ったるぞー	撮影場所	三角山	氏名	西橋 みゆき	タイトル	ゴミ拾いする息子	撮影場所	古潭海岸	氏名	坂東 千鶴
		<p>選択したSDGs</p>  <p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>西区のシンボルの三角山周辺には天然記念物のクマゲラが生息しています。ある日、朽木で採餌しているクマゲラに出会いました。力強く木をつつく姿にしばし見入ってしまいました。大都市でありながら、自然豊かな三角山、この環境を未来の子供たちにバトンタッチしていきたいと強く思いました。</p>						<p>選択したSDGs</p>    <p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>西区のイベント「親子で環境バスツアー」に参加した時のもの。海洋ゴミ拾い調査で流木の隙間を駆け抜けゴミを集めに走る息子の後ろ姿を撮りました。漂流物のゴミ拾いを楽しみつつ海の豊かさを守るのに少しでも貢献できた事が嬉しく思いました。</p>			
タイトル	大好きな公園で	撮影場所	五天山公園	氏名	牧野 利穂	タイトル	たまには灯りを消して！	撮影場所	ベランダからの三角山	氏名	加茂 政和
		<p>選択したSDGs</p>   <p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>毎朝涼しい風を浴びながら好きな遊びをするのが日課です。砂の温度が季節や天気のパロメーターになっています。</p>						<p>選択したSDGs</p>  <p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>夜になると電気をつける、当たり前の行動。でも「たまには灯りを消して！」みませんか。限りある資源と豊かな自然を守るため、微力ではあるが、今出来ることを続けて行こう。夜の三角山が綺麗です。「たまには灯りを消して！」</p>			

タイトル	歯磨きチューブ（プラ）は最後まで綺麗に使ってリサイクルへ	撮影場所	西区自宅洗面所	氏名	笠井 竹志	タイトル	まなざし	撮影場所	五天山公園	氏名	熊崎 隆
		<p>選択したSDGs</p> 						<p>選択したSDGs</p> 			
		<p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>面倒な歯磨きチューブも残り僅かになったら半分に切って使います。毎回使用後は半分づつを繋げて伏せて置きます。全部無くなったら綺麗に洗ってプラゴミに出します。</p>						<p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>五天山公園は山間部にある静かな公園です。子育て中のカイツブリを撮影しました。親鳥が運んできた魚を食い入るように見つめるヒナたちと、卵を抱きながらやさしく見守る親鳥です。鳥たちが子育てできる自然を守っていききたいと思います。</p>			

タイトル	町内会で街路花壇に花植え。町内会で街も心も潤す	撮影場所	琴似2条2丁目のあやめ保育園あたり	氏名	三浦 美香	タイトル	星を求めたその先に	撮影場所	琴似で星空観察し、より暗いところを求め移動、積丹の海で撮影	氏名	三浦 康弘
		<p>選択したSDGs</p>    						<p>選択したSDGs</p>    			
		<p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>町内会で街路花壇の花植え。親子で参加して、町内の皆さんに子供のことを覚えてもらう。絶好のチャンス！日々、朝早く水やりをして、花壇を元気に育ててくれている町内会の方に感謝。町内会は、地域の助け合い、防災の最小単位。町内会は高齢の方ががんばってくれていますが、世代を超えた絆づくりとして再構築されればよいと思います。</p>						<p>選択したSDGsと作品に込めた思い</p> <p>小学校で星空観察会を体験し、夜空を眺める。琴似の街は星空を見るには、ちと明るい。山も海も近くにあるのが西区とばかりに、欲張って星空と朝日を見に行くことに。まだ顔も出さない日の光に照らされ、目の前の娘たちが、まるで影のよう。自然の偉大さを全身に蓄えて、また私たちの愛する街、琴似に還る。</p>			